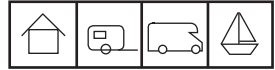


1. ようこそ

この度は一酸化炭素警報器をご購入頂き誠にありがとうございます。



上記マークは本製品が別荘、移動式住居、ボートなどを含む、ご家庭での使用に適していることを表しています。

このマニュアルには警報器の設置、また使用に関する重要な情報が記載されています。本マニュアルをよくお読みになり、必要時に参照できるよう、安全な場所に保管してください。

警報

一酸化炭素警報器を換気装置や排気装置などを含む、燃料燃焼機器の設置、使用、整備の代用として使用しないでください。

本一酸化炭素警報器は、人体を一酸化炭素中毒から守る目的で設計されています。お客様の健康状態に問題ある場合、完全に保護することはできません。健康状態に問題がある場合は、医師に相談してください。

低レベル (>10 ppm) の一酸化炭素に長時間さらされた場合、慢性的な影響が出る場合があります。すぐに医師に相談してください。

1

2. 製品概要

XC70

Honeywell社は3種類の電池式一酸化炭素警報器を提供しています。それぞれ異なる外観と製品寿命となります。

XC100

ベーシックモデル **XC70** は装置の状態を視覚的に表示表示灯が装備されています。製品寿命並びに保証期間は7年です。

XC100D

XC100、**XC100D**の両製品は装置本体のケースに大きな警報メッセージを表示します。製品寿命並びに保証期間は10年です。

XC100D には一酸化炭素濃度の上昇や、一酸化炭素濃度の最高値の情報を表示するLCDスクリーンも装備されいます。

また、すべてのタイプが警報音を出し、**テスト/停止** ボタンが搭載されています。Honeywell X-シリーズ警報器は、ワイヤレスで連携するプラグイン・モジュールもオプションでご用意しています。このオプションを使用すると、1つのXシリーズCO警報器、または火災報知器が異常を検知した場合、全ての連携している装置が警報音を発します。これは、特に敷地面積の広い住宅や、積層住宅での使用に役立ちます。このワイヤレス・モジュールに関する情報の一部は、本マニュアルにも記載されています。

4. CO警報器操作方法

XC70

状況に合わせたインジゲータ

- 警報
- 電源
- 注意
- 換気 (早期検知)

ガス検知口

高音量警報音アウトプット

テスト/停止ボタン

- 過剰警報停止
- 警報停止
- 低音量テスト

1

XC100 / XC100D

状況に合わせたインジゲータ

- 電源
- 注意
- 換気 (早期検知)

ガス検知口

高音量警報音アウトプット

警報メッセージ

- 警報モードでのみ表示 (「通常時は表示されません」)

テスト/停止ボタン

- 過剰警報停止
- 警報停止
- 低音量テスト

2

表示 (XC100Dのみ)

警報や過剰反応の停止

機器の取替え

遮隔火災報知器

他の機器による遮隔警報作動

CO警報器

PPM単位でのCO濃度 (XW100ワイヤレスモジュールでの設定)

CO早期検知レベル

75%
50%
25%

105 PPM

5

通常使用時

警報器の正常動作を示すため、緑の**電源**ライトが毎分1回点滅します。XC100Dのスクリーンには何も表示されません。

警報発生時

危険なCO濃度を検知した場合、赤い**警報**ライトとメッセージが点滅し継続的に警報音を発します

XC100Dはその瞬間のCO濃度とドクロマークを表示します

装置が**警報**モードで、COが平均値に戻った場合、装置は警報記憶モードになります。**テスト/停止** ボタンを押して通常モードに戻してください。

6

3. 一酸化炭素 (CO) について

酸化炭素 (CO) は人体に非常に有害な無色透明の気体です。木材、木炭、石炭、灯油、ガソリン、天然ガス、プロパンガス、ブタン等が不完全燃焼を起こした場合や、タバコの煙によって発生します。装置がきちんと整備されていなかった場合や、煙道が詰まっていた場合、また室内の換気が正しく行われない場合に、一酸化炭素濃度は危険値を超えます。

CO中毒の危険度はその濃度 (単位ppmで表される) とCOにさらされていた時間によって異なります。

濃度	症状
~ 100 ppm	軽い頭痛、肌の紅潮 (時間の制限無く)
200 – 300 ppm	頭痛 (5~6時間)
400 – 600 ppm	ひどい頭痛、衰弱、めまい、吐き気、嘔吐 (4~5時間)
1100 – 1500 ppm	心拍数や呼吸数の増加、失神、昏睡状態、断続的痙攣 (4~5時間)
5000 – 10000 ppm	脈拍低下、呼吸抑制/呼吸不全、死亡 (1~2分)

出展: Health Protection Agency Compendium of Chemical Hazards, Carbon Monoxide, Version 3, 2011

4. CO警報器操作方法

装置が警報モードになった場合、落ち着いて順番どおり次の対応をとってください。

- 換気性を上げるため、全てのドアや窓を開ける
- 燃料燃焼器具の使用を全て中止しできる限り電源を切る
- 警報が鳴り止まない場合は速やかに避難する。ドアや窓を開けたまにし、警報が止まった場合のみ建物内に入る
- 頭痛、吐き気等、一酸化炭素中毒症状がある者はすぐ医師の診断を受け、一酸化炭素中毒の疑いがある旨を伝える
- 一酸化炭素発生の原因を調査、修理するため、ガス会社やその他燃料供給会社の緊急連絡先に電話をする
- 燃料燃焼器具は法律で定められた資格を持つ者が再点検し、問題なしと判断するまで使用しない

注意: 燃料燃焼器具以外にもタバコの煙や都市ガス、余燼などが一酸化炭素を発生させた可能性もあります。

7

一酸化炭素警報器は、下記のように、一定の時間内に定められた濃度以上の一酸化炭素を検知した場合、警報を鳴らします。

- 50 ppm:** 60~90分間で警報
- 100 ppm:** 10~40分間で警報
- 300 ppm:** 3分以内に警報

本CO警報器は、濃度や充満時間によって警報を鳴らすため、ヨーロッパ基準を満たすように設定されています。これにより、CO濃度が一定時間で危険値を超過し、直ちに対応が必要な場合、警報を鳴らすことができ、また一時的な低レベルのCO濃度 (タバコの煙など) に過剰反応することを防ぎます。

4. CO警報器操作方法

装置が**警報**モードの場合、**テスト/停止** ボタンを押すと警報が5分間停止します。(赤色ライトは点滅し続けます。またXC100Dモデルは消音サインを表示します。) 5分経ってもガスの危険レベルが下がらない場合、警報音を繰り返します。

注意: 停止機能はガス濃度が350ppm以下の場合にのみ機能し、1度だけ使用することができます。

警報記憶機能

COは人間には感知できないため、外出中に故障器具が原因で警報を作動させる場合があります。記憶機能はボタンを押すか、作動から7日を過ぎるまで赤色ライトを点滅させます。

XC100Dモデルはボタンを押してから10秒間、記録された最高濃度を表示します。

イベントログ

Honeywell製CO警報器は専門業者向けにダウンロード可能なイベントログを記録します。過去7日間のCO濃度や今までの週別最高値の記録などの情報が記載されており、詳細分析が可能です。

8

操作、設置方法マニュアル

Honeywell

Xシリーズ電池式CO警報器

XC70
XC100
XC100D

お問い合わせ先

www.homesafety.honeywell.com
www.honeywellanalytics.com
www.honeywell.com

〒105-0022
東京都港区海岸1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワー20F
ハネウェルジャパン株式会社

Tel: 03-6730-7320
Fax: 03-6730-7224

analytics.ap@honeywell.com

Honeywell

注意事項:
本書は細心の注意を払って作成されていますが、間違いや省略事項に関しては一切の責任を負いません。データや法令が変わる可能性もありますので、最新の法令や規定、ガイドラインのコピーを取得してください。本書は契約書の役割を果たすものではありません。

Life Safety Distribution AGの代理としてJavastrasse 2, 8604 Hegnau, SwitzerlandはHoneywell Inc.の正規代理店です。

I56-4127-001
MAN0936_Issue 2_04/14_EN-AP
© 2014 Honeywell Analytics

4. CO警報器操作方法-続き

換気 – 早期検知

壊れた器具からCOが徐々に漏れ出し、危険レベルに達する場合があります。早期検知機能を使用されている場合、警報レベルに達していなくても初期警報を発します。早期検知機能が何度も動作する場合は資格を持つ技術者による詳細な調査をしてください。早期検知機能は警報レベルの25% (時間、濃度) に達すると作動し始めます。例えば50ppmのCOが存在する場合、早期検知機能は15~23分後に警報を作動させます。

COの危険レベルから人体を保護する目的では必須ではないので、初期設定でこの機能は動作しません。早期検知機能を使う場合は、設置方法のセクションに記載されている内容をご確認ください。早期検知機能は知識のあるエンドユーザに不備のある器具の早期発見を促すための機能です。

早期検知機能が有効になっている警報器で、COが検知された場合、25%、50%、75%の濃度に達すると、青色の換気ライトの点滅と高音を30秒間隔で1、2、3回繰り返します。(濃度により回数変化) **XC100D**モデルは、警報レベルと現在のCO濃度を表示します。

注意-製品の寿命

装置が**注意**モードで**黄色**のライトが毎分点滅し短い警報音の発している場合、CO警報器は寿命を迎えており、交換する必要があります。(高音を3回繰り返すワイヤレスモジュール注意モードは例外です。この場合、詳細はワイヤレスモジュール取り扱い説明書を参照して下さい。)

テスト/停止 ボタンを押すと高音は24時間停止します。この24時間タイマーを再設定するには**テスト/停止** ボタンを2回押してください。(XC100Dモデルは消音サインを表示)

注意: 注意シグナルは電池切れ、電子機器の不具合、COセンサーの寿命により作動します。寿命シグナルは搭載されているタイマーが発しており、初回起動後10年後 (XC100, XC100Dモデル) または7年後 (XC70モデル) に作動するように設定してあります。

寿命シグナルが作動する前の交換を促すために、交換日は装置側面にも記載されています。交換日は6ヶ月の保管期間も含まれています。つまりこの交換日は装置交換の最終日となります。寿命シグナルはこれより早く動作する場合もあります。

*テスト/停止ボタンで停止されていない限り
**最初の電源を入れるときに使用するよう設定されている場合のみ
***ワイヤレス連携プラグインモジュールがインストールされている場合のみ

